

週刊新社会

12月6日 2016年号外 野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 150円 41円
 http://www.sinsyakai.or.jp/
 発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

10日・土 13時から沖縄連帯集会在日比谷野外音楽堂で開催

12月議会は 19日まで

国補正予算受けて予算を大增額 期待の保育士確保策は空振り

11月30日から19日の予定で12月議会が始まった(表1)。公契約条例の特例で最低賃金を上げて、保育士を確保しようとしたが、事業者が難色を示したため、待機児童は放置のまま。議案14件、請願と陳情各1件が上程された。詳細についてはすでに市のホームページに掲載されている。なお、人事院勧告関連の補正予算等が後日提案される。一般質問は15議員が行う(表2)。

最賃引上げは賃金体系の バランス崩すと事業者が難色

事業者はなぜ難色を示したのか。それは保育士の最低賃金を上げると、企業の賃金体系が底上げされて、人件費コストがかさむためである。

野田市の保育所の指定管理者はすべて株式会社である。建て替えを機に公設から民設に切り替わった1か所は社会福祉法人が運営し

ている。しかし、この社会福祉法人は株式会社で指定管理者になっている企業の系列である。

これまで130人定員の保育所をこのような指定管理者に任せると、年間3千万円のコストが浮くため、公営から切り替えてきた。これらの法人は厚労省の保育公定単価を人件費等の基準にしてきた。民間保育士は保育の責任の重さにくらべてあまりに低賃金だった。

法人側はその公定単価で利益を

表1 これからの12月議会日程

期日	開議予定時刻	会議予定	主な会議内容
7日・水	10時	本会議	議案質疑、委員会付託
8日・木	10時	本会議	一般質問
9日・金			
12日・月			
13日・火	10時	総務	常任委員会 議案等の審査
	13時	環境経済	
14日・水	10時	文教福祉	
	13時	建設	
19日・月	10時	本会議(閉会)	委員長報告、質疑、討論、採決

出すのだから、ほとんどが労働組合のない保育士の低賃金等にしわ寄せされ、保育士が不足する

野田市はとりあえず任期付保育士を来年度7名採用する一方、指定管理者側とは最賃の協議を進めて予算化したいとの考えだ。

11月1日現在、待機児童38人を含む保留者は194人。9月議会時点で保育士が確保できれば97人は入所できると言っていた。これまでの「行政改革」のつけは重い。

明石市の保育士確保策は

今年度中に1000人の定員枠を増やそうとしている明石市は、どのように保育士を確保しようとしているのだろうか。

明石市のホームページによれば、就職準備金を民間保育所等に就労する新卒者に最大30万円支給(初年度から3年間、各10万円)、

潜在保育士には採用時に、兵庫県保育協会の制度を使って20万円を貸し付けるが、2年間勤務で返済不要にする。

そして野田市も同額だが、最大月額8万2千円の家賃補助、さらに自分のこどもを保育所に優先入所させるという。

表2 一般質問順位

日程	順位	氏名	会派
8日 木	1	竹内美穂	政清会
	2	中村あや子	公明党
	3	小椋直樹	民進連合
	4	織田真理	日本共産党
	5	長南博邦	新社会党
9日 金	6	船橋繁雄	みん清クラブ
	7	小室美枝子	市民ネット
	8	栗原基起	新しい風
	9	谷口早苗	無所属の会
	10	小俣文宣	政清会
12日 月	11	吉岡美雪	公明党
	12	滝本恵一	民進連合
	13	星野幸治	日本共産党
	14	山口克己	政清会
	15	木名瀬宣人	政清会

おさなみ議員の一般質問

所得制限から普遍的福祉でまちづくりを

長南博邦議員の一般質問は 5 項目。登壇は 8 日の最後、おそらく午後 3 時からか、それ以降。会派人数と会派設立の順に質問者が位置づけられるのでいつもこうだ。

今回は明石市などの行政視察で学んだことが 2 点、市民からの提案が 1 点などの計 5 点で、質問原稿は約 7 千字。再質問をしていたら最後まで質問できないかも知れない。

質問通告書の概略は以下の通り。

1 普遍的福祉とその施策に基づく人口政策に対する市長の認識について

格差と貧困の増大の中でこれまでのように所得制限などで対象を絞った制限的福祉から、対象を絞らない普遍的福祉への転換が提唱され、明石市でその先

鞭をつけている。

そのことによって人口増と税収増、そしてサービス向上の好循環をはじめている。これに対する市長の認識と、横並びかつ制限的福祉サービスから脱却して人口増、まちづくりに向かうべきではないか。

2 離婚家庭支援について

野田市の離婚家庭の状況について、及び野田市の離婚家庭支援の現状と対策について。

3 学童保育の過密対策について

学童保育所の過密対策で、小学校区単位で基準を超えている場合、対応措置をとるとの方針だが、子どもたちにとっては入所している学童保育所そのものの過密化が問題となる。同学区内の学童保育所の入所バランスをとろうとしても、問題が解決

しない場合は増設等の対策をとるべきと思うがいかがか。

4 駅前修景地及び街路樹の管理マニュアルについて

9 月議会で駅前修景地の管理マニュアルはないと聞いた。一方、街路樹の管理等に係るマニュアルは策定中と聞く。駅前修景地についても作成するべきであり、かつ街路樹の管理等に係るマニュアルの策定状況、及び、その内容、完成目途と来年度予算への反映、マニュアルの公開と市民参加について伺う。

5 選挙ポスター印刷費の適正化について

9 月議会で選挙ポスター等の公費負担上限が上がった。しかし、選挙ポスター印刷費は従前より下がっており、下げるべきと考えるが、選挙管理委員会として実勢価格をどの程度と認識しているのか伺う。

また、他の自治体で選挙ポスターの公費負担分で、他の選挙関係の印刷も行っているのではないかと問題となることが多々あるが、そのことについてどのように認識しているのかを問う。

17.5%増の補正予算組まれる 次年度以降の起債枠は当然縮小

野田市は国の補正予算の配分を受け、48 億円余を増額して 567 億円余の一般会計補正予算を組んだ。

その柱は当初予算が不十分で、今年度中の仮線切り替え等ができなかった鉄道高架事業で、80%余の増額で 70 億 6 千万円、くりぼり川整備費の増額、そして来年度に予定していた小学校と幼稚園の空調設備整備費が入った。

また、低所得年金者と低所得障

害者・遺族基礎年金受給者向けに 3 万円の臨時福祉給付金も入った。

これらはいずれも今年度から来年度にかけて執行される。小学校の空調設備工事は来年の夏休みを利用して行うので、当初予定通り、再来年度の夏から使えるようになる。ただ、鉄道事業と空調整備はほとんど借金で行うため、来年度からの資金繰りはきびしくなる。

議員の厚生年金加入 意見書は提出しない

11 月 30 日の会派代表者会議で、全国市議会議長会から意見書の提出について働きかけられている、自治体議員の厚生年金加入を求める意見書については、野田市議会として意見がまとまらないため、提出しないこととなった。当然の結果である。